

次期行財政改革推進プログラム取組項目の掲載方法について

これまでの行財政改革推進プログラムにおける取組項目は、次のような掲載内容としていた。

推進事項	指定管理者制度の導入拡大							
取組内容	指定管理者制度の導入の可能性を検討し、制度導入の拡大を図る。							
効果	・民間の能力やノウハウの活用 ・市民ニーズに対応したサービスの提供 ・経費の削減							
番号	取組項目	所管部局	実施年度					
			25	26	27	28	29	30
1	●●●●●への指定管理者制度の導入	●●部	○	→	→	→		
2	▲▲▲▲への指定管理者制度導入の検討	▲▲部		○	→	→	→	

実施年度の欄は、「○」「→」で表示している。「○」は取組の始期を、「→」は取組年度を示している。なお、最後の「→」は取組の終期を示している。

上記の「1」の場合だと、「○」と「→」で理解することはできるが、「2」の場合だと、検討を開始する年度は分かるが、以降は検討を続けるということなのか、導入開始までも含めた内容なのかが判然としない部分がある。この点については改善の余地があり、次期行財政改革推進プログラムでは次のような掲載方法とすることを検討したい。

推進事項	指定管理者制度の導入拡大							
取組内容	指定管理者制度の導入の可能性を検討し、制度導入の拡大を図る。							
効果	・民間の能力やノウハウの活用 ・市民ニーズに対応したサービスの提供 ・経費の削減							
番号	取組項目	所管部局	実施年度					
			25	26	27	28	29	30
1	●●●●●への指定管理者制度の導入	●●部	○	→	→	→		
2	▲▲▲▲への指定管理者制度導入の検討	▲▲部		○	→	→	→	

「検討」という文言を使用すると、何をもって取組が進んでいるかが曖昧となり、また、取組のスピード感がないように見えることから、原則として取組項目に「検討」は使用しないこととしたい。

取組の進捗状況をより分かりやすく表示するために、「検討」、「実施」といった具体的な文言で表示するようにしたい。